



煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集*渡部
Tel. 046-223-0110

身元不明遺体の身元確認相談

日頃の備え (防災意識の高揚)

～家族で防災会議を開催しましょう～

8月30日から9月5日は「防災週間」、9月1日は「防災の日」です。

自然災害から家族や自分の身を守るためには、日頃の備えが大切です。いざという時のために、家族で防災会議を開いたり、災害備蓄品の準備をして災害に備えましょう。

- ◎ 身の安全を確保できる場所を確認しましょう
- ◎ 家具の転倒防止等の措置を行いましょう
- ◎ 地域の避難場所や避難経路の確認をしましょう
- ◎ 家族との連絡方法を確認しましょう

(災害が発生すると、被災地等への通信が増加し、電話がつながりにくくなります。災害時には、NTT災害用伝言ダイヤル「171」や携帯電話の「災害用伝言板」等を活用しましょう。

- ◎ 災害時は正しい情報をラジオやテレビ、自治体が設置した防災無線等から正しい情報を入手しましょう。

◎ 自助・共助

自分の安全、家族の安全を確認したら、近隣の人たちの安全も確認しましょう。災害時は助け合うことが最も大切な事です。

～身元の分からないご遺体の身元を捜しています。～

身元不明遺体の身元確認相談

- ◎ 警察では、不慮の事故等で亡くなり身元の分からない御遺体や御親戚の方で長期間にわたって音信不通である遺書や言動から自殺のおそれがある犯罪や交通事故の被害に遭っているおそれがある
- ◎ 海や山で遭難事故の被害に遭っているおそれがあるなどの行方不明者を捜されている方は
- ◎ 行方不明者の顔写真
- ◎ 血液型
- ◎ 歯の治療の有無(入歯、差し歯、冠等)
- ◎ 身体特徴(手術の痕、火傷の痕、ほくろ等)等の身元確認の参考となる情報を御用意して御相談ください。
- ◎ 相談窓口では、全国で亡くなり身元の分からない御遺体の資料を用意して御相談に応じます。
- ◎ 相談先
神奈川県警察本部刑事部鑑識課指紋第四係
045(641)0683 (相談直通電話)
045(211)1212 (内線4666)
- ◎ 相談受付時間
月曜日から金曜日(祝日、12月29日から1月3日は除く)
午前8時30分から午後5時
- ◎ 神奈川県警察ホームページで身元不明遺体の情報を掲載しています。
<https://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesc5002.htm>

事件記録板

6月中旬から7月中旬までの事件は、侵入盗などの事件の発生はありませんでした。

- 振り込め詐欺は、注意喚起の広報が行われていますが、未だに発生しています。お金に絡む話は、分からないので一旦電話を切り、考える時間を持ってください。また、振り込め詐欺対策電話対応の電話機の使用をお勧めします。皆さん、どうか騙されないようご注意ください。

駐在所の独り言 ～コロナ対策、ひとり1人とみんなの頑張りで乗り切ろう!!～

今、徐々にコロナウイルスが沈静化しつつあり、ここは暫く我慢のしどころです。ここ迄頑張ってきた、まるで終息したかのような誤った安心感を持つ事は危険です。当初、日本はコロナウイルスの対策が不十分ではとの海外メディアから厳しい批判がありました。ところが今は、世界から日本の対策が正しかったと、絶賛の声が上がっているのです。その理由は、欧米のような強制力のあるロックダウン(都市封鎖)も行わず、PCR検査数が他国に比べて非常に少ないからです。にも関わらず、一次感染を抑え込んだ事に対し、世界から何故なのか、何だか分からないが素晴らしいと注目されています。その理由は、医療関係者の身を挺した頑張りもありますが、国民が蔓延させないと言う決意と感染しないでの願いが、個々のマスク使用とうがい手洗いなどの予防対策に繋がり、功を奏したものと思います。「ハドソン川の奇跡」という映画をご存知でしょうか。この映画は、実際に発生した航空事故を基に作られた映画ですが、2009年1月15日、極寒のニューヨーク、160万人が住むマンハッタン上空850mで突如起こった航空事故。バードストライクで全エンジン完全停止、制御不能、機長は高速で墜落する67.72トンの機体を必死に制し、目の前のハドソン川に着水させ乗員乗客155名全員無事に生還させるというものです。着水後も浸水する機内から乗客の避難を指揮した機長は、国民的英雄と称される。だが、その裏で彼の決断を巡り、NTSB(国家運輸安全委員会)の厳しい聞き取り調査が行われ、簡単ではなかった。そんな経過の中、飛行シミュレーションや機内の音声記録が再生され、適正な判断だ、奇跡だと歓声上がる。機長、副機長は、少し休憩をさせてくださいと会場を後にする。二人だけになった機長は、副機長に「誇りに思ってる、あんな状況の中で君は冷静だった、危なかったのに、一緒に頑張った、チームだ、いい仕事だった。」とお互いに成功を確認し合う。その後二人は会場に戻るとNTSBは、機長が成功の鍵を見つけた。あなたのお陰で乗客の命が救われたと結論付けられた。そこで機長は、「それは違います。私だけでなく、皆さんのお陰です。乗客の皆さん、救助に来たフェリーの乗組員、警察、管制官、みんなで力を合わせて生き残った。」と語る感動シーンで終わります。この映画、コロナと関係あるの?なんて思った方もいるかと思いますが、完全終息まで色々な難題があっても、最後まで諦めない。皆でコロナと戦う事で終息に繋がると思い起こしてくれる映画だと思えます。因みに機長は、あの有名な俳優トム・ハンクスです。是非お勧めします。